

8-162580

Claim:

A connector housing including a housing body having a mating contact insertion side opening and a lead drawer side opening at front and rear of a contact containing chamber, wherein said connector housing is characterized by further including a contact holder for being inserted in said housing body, said contact holder having a contact engaging portion for engaging with a connector contact and a lock portion for locking the contact holder to said housing body, said housing body having a lock portion for locking said contact holder and a temporary lock portion for temporarily locking said contact holder to said lead drawer side opening.

R:/users/Tallen/email/ Majima-1/claims

公開実用 昭和 58— 162580

④ 日本国特許庁 (JP)

⑤ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭58—162580

51 Int. Cl.³
H 01 R 13/436

識別記号

庁内整理番号
7161-5E

特公開 昭和58年(1983)10月29日

審査請求 有

(全 頁)

54 コネクタハウジング

河電気工業株式会社中央研究所
内

21 発 願 昭57-59473

71 出 願 人 古河電気工業株式会社

22 出 願 昭57(1982)4月23日

東京都千代田区丸の内2丁目6
番1号

72 考 案 者 小八田憲

東京都品川区二葉2 9・15 占

74 代 理 人 弁理士 松本英徳

明 細 書

1. 考案の名称 コネクタハウジング

2. 実用新案登録請求の範囲

コンタクト収容室の前後に相手コンタクト挿入側開口部とリード線引出側開口部が設けられているハウジング本体を有するコネクタハウジングにおいて、前記ハウジング本体内に挿入されるコンタクトホルダーを有し、前記コンタクトホルダーにはコネクタコンタクトに係止するコンタクト係止部とこのコンタクトホルダーを前記ハウジング本体にロックするロック部とが設けられ、前記ハウジング本体には前記コンタクトホルダーをロックするロック部と前記コンタクトホルダーを前記リード線引出側開口部に仮ロックする仮ロック部とが設けられていることを特徴とするコネクタハウジング。

3. 考案の詳細な説明

本考案は、ワイヤーハーネス等の接続に用いるコネクタ用のコネクタハウジングに関するものである。

公開実用 昭和58-162580

従来のこの種のコネクタハウジングは、ハウジング本体の内面に突起よりなるコンタクト係止部を設け、このハウジング本体の収容するコネクタコンタクトには前述したコンタクト係止部を係入する窓よりなる係止部を設け、これら係止部の相互係止作用によりコネクタコンタクトがコネクタハウジングから抜け出ないようにしていた。コネクタコンタクトのコネクタハウジングへの挿入は手作業により行われている。

ところで、コネクタハウジングのコンタクト係止部は、コネクタコンタクトの挿入が行われるコネクタハウジングのリード線引出側開口部とは反対側の相手コンタクト挿入側開口部寄りの箇所に設けられているので、コネクタコンタクトの挿入作業が行われているリード線引出側開口部からは遠くて目視により確認するのは不可能に近い。このため、従来はコネクタコンタクトをコネクタハウジングに挿入した後で、コネクタコンタクトに接続されているリード線を手前に引きコネクタコンタクトが抜け出るか否かによつてコネクタコン

タクトの確認を行っていた。

しかしながら、このような確認方法は手間がかかるうえに、コネクタコンタクトがコネクタハウジングの内壁に係止部による係止作用以外の原因で引掛つている場合もあるので確認が不確実になる欠点があつた。

本考案の目的は、コネクタハウジングからコネクタコンタクトが抜け出る事故を防止できるコネクタハウジングを提供するにある。

本考案は、コンタクト収容室の前後に相手コンタクト挿入側開口部とリード線引出側開口部が設けられているハウジング本体を有するコネクタハウジングにおいて、前記ハウジング本体内に挿入されるコンタクトホルダーを有し、前記コンタクトホルダーにはコネクタコンタクトに係止するコンタクト係止部とこのコンタクトホルダーを前記ハウジング本体にロックするロック部が設けられ、前記ハウジング本体には前記コンタクトホルダーをロックするロック部と前記コンタクトホルダーを前記リード線引出側開口部に仮ロックする仮ロ

公開実用 昭和58-162580

ック部とが設けられていることを特徴とするものである。

以下本考案の実施例を図面を参照して詳細に説明する。本実施例のコネクタハウジング1は、第1図及び第2図に示すように箱形のハウジング本体2を有し、このハウジング本体2には上下2段に複数のコンタクト収容室3が設けられ、これらコンタクト収容室3の前後には相手コンタクト挿入側開口部4とリード線引出側開口部5とがそれぞれ設けられている。ハウジング本体2内には板状のコンタクトホルダー6が収容されるようになっている。コンタクトホルダー6の先端側にはコネクタコンタクト7に係止する突起よりなるコンタクト係止部8が複数個、各コンタクト収容室3に対比して設けられている。コンタクトホルダー6の先端両側には、このコンタクトホルダー6をハウジング本体2にロックするばね状のロック部9と、コンタクトホルダー6をハウジング本体2のリード線引出側開口部5に係止めする係止め部10が設けられている。ハウジング本体2には隣

接するコンタクト収容室3間を仕切る仕切壁11が設けられ、仕切壁11にはコンタクトホルダー6の挿入を許容するスリット12が設けられている。コンタクトホルダー6にも仕切壁11に対応してスリット13が設けられている。ハウジング本体2にはコンタクトホルダー6をロックする切込みよりなるロック部14が相手コンタクト挿入側開口部4側に設けられている。ハウジング本体2のリード線引出側開口部5側には、コンタクトホルダー6を仮止めするためスリット15と突起よりなる仮止め部16とが設けられている。コネクタコンタクト7にはリード線17が接続されている。コンタクト7にはコンタクトホルダー6のコンタクト係止部8に係入する態よりなる係止部18が設けられている。

このようなコネクタハウジング1は、コンタクトホルダー6の先端側をハウジング本体2のリード線引出側開口部5側に第2図に示すように挿入し、仮止め部10をスリット15からハウジング本体2の外に突出させて仮止め部16に仮止めす

公開実用 昭和58-162580

る。かゝる状態でリード線引出側開口部5にコネクタコンタクト7の先端端を挿入して係止部18をコンタクトホルダー6のコンタクト係止部8に嵌めて係止させる。リード線引出側開口部5側でこのようにコネクタコンタクト7をコンタクトホルダー6に係止させると、係止状態を目視しながら且つ確認しながら随時にコネクタコンタクト7の係止作業を行うことができる。各コネクタコンタクト7の係止作業が終了したらコンタクトホルダー6の仮止め部10を切除してコンタクトホルダー6を押し込み、コンタクトホルダー6のロック部9をハウジング本体2のロック部14にロックさせる。

仮止め部10をロック部9から切除する切除作業の自動化は容易であるが、小量生産の場合には例えばニツバのような手工具で切断することになり、かえって能率を下げることになるので、このような場合には仮止め部10を切除しなくてもよいように図5図に示すようにして設けることもできる。

また、コンタクトホルダー6に設けるコンタクト係止部8は第4図に示すようにコネクタコンタクト7が外れないような対形のフック状にすることもできる。

以上説明したように本考案に係るコネクタハウジングは、ハウジング本体のリード線引出側開口部にコンタクトホルダーを仮止めしておいてコネクタコンタクトをコンタクトホルダーに係止させてからコンタクトホルダーを挿入することによりコネクタコンタクトをハウジング本体内に収容するので、コネクタコンタクトの係止状態を目視しながら且つ確認しながらコネクタコンタクトの取付け作業を行うことができ、コネクタコンタクトの抜け止めを確実に図ることができる。また、コネクタコンタクトの挿入作業もコンタクトホルダーを介して容易に行うことができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案に係るコネクタハウジングの一実施例の組立前の状態の斜視図、第2図は本実施例においてハウジング本体にコンタクトホルダー

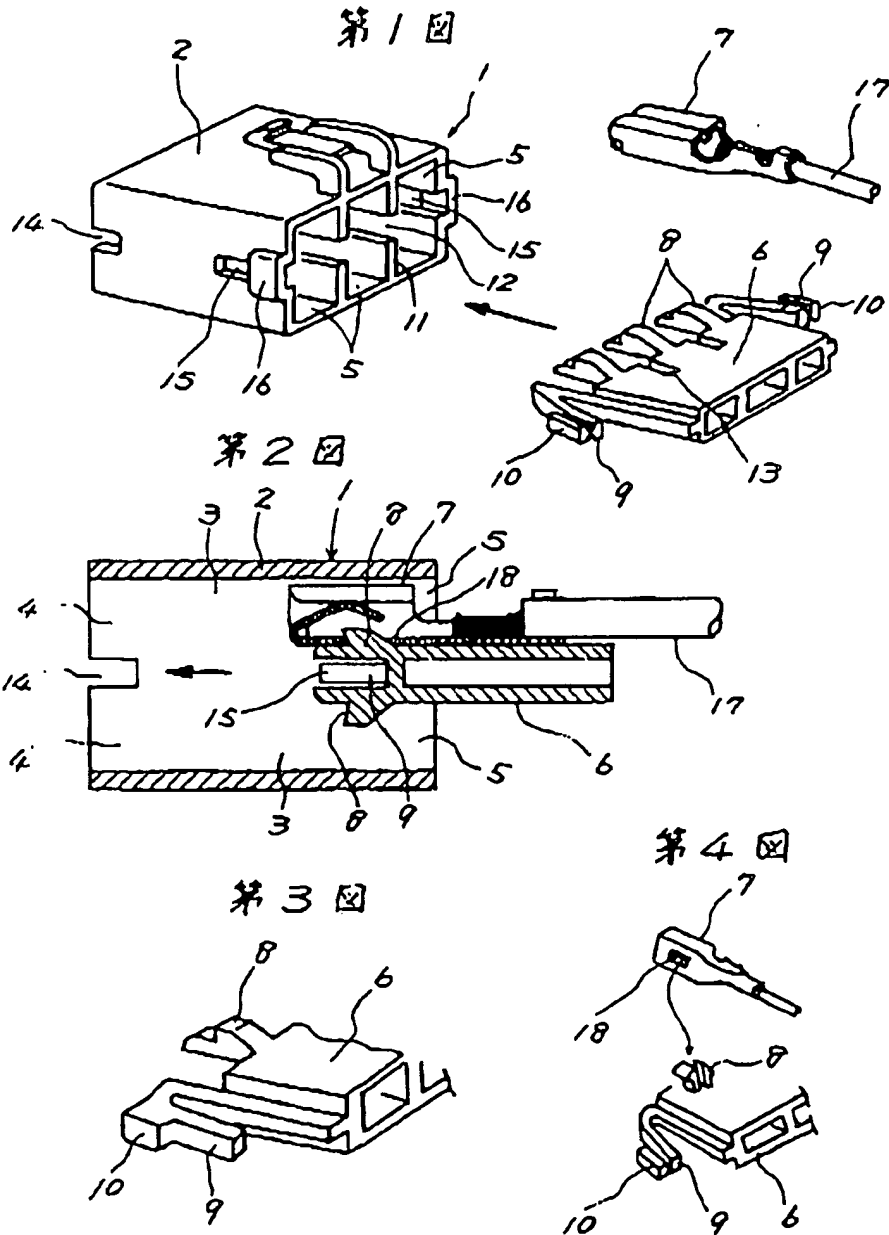
公開実用 昭和58-162580

を仮止めした状態を示す縦断面図、第3図は仮止め部の変形例を示すコンタクトホルダーの斜視図、第4図はコンタクト係止部の変形例を示すコンタクトホルダーの斜視図である。

1…コネクタハウジング、2…ハウジング本体、3…コンタクト収容室、4…相手コンタクト挿入開口部、5…リード線引出開口部、6…コンタクトホルダー、7…コネクタコンタクト、8…コンタクト係止部、9…ロック部、10…仮止め部、14…ロック部、15…スリット、16…仮止め部、17…リード線、18…係止部。

代理人 弁理士 松 本 英





7:7

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☒ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.